

○函館漁港 船入澗防波堤 (函館市)



(施設概要)

- ・ 函館漁港は函館市の観光名所が集中する西部地区に位置し、活イカなどが水揚げされる漁港です。
- ・ 船入澗防波堤は明治32年に完成した石積み構造の防波堤で、土木学会の「選奨土木遺産」に認定されています。
- ・ 建設後100年以上が経過して欠損等があったことから、修復範囲を最小限とした原型復旧工事を行いました。

(見学箇所)

- ・ 船入澗防波堤

(見学時間)

- ・ 15分(最短)～30分(最長)

(見学目安人数)

- ・ 1枠あたり10人/班×1回

(ただし、見学内容・時間は要調整)

(施設までのアクセス)

- ・ 函館新道函館ICから車で約20分
- ・ 函館市電 函館どつく前から徒歩5分



○函館漁港 船入澗防波堤 (函館市)

【駐車場・その他施設】

- ・ 駐車場：大型バス1台まで可能（見学箇所まで約200m）
- ・ トイレ：あり（見学箇所から約300mの公園内）

【観光情報ほか】

- ・ 漁港周辺には水産加工場直販施設があり、イカの塩辛やコンブの佃煮などを購入することができます。
- ・ 漁港近郊には、日本最古のコンクリート電柱や道内初の下下水道など、多くの土木・産業遺産があります。
- ・ 近くには、赤レンガ倉庫群が立ち並ぶベイエリアやビュースポットとして有名な八幡坂などの観光スポットがあります。

【注意事項】

- ・ 防波堤上は、段差や突起物があり、つまずきやすくなっています。
- ・ 防波堤は幅が狭いため、車いすや歩行に支障がある方は通行出来ません。
- ・ 安全上、小学3年生以下の見学は出来ません。
- ・ 大型バスの駐車スペースが限られているため、駐車場所から徒歩での移動となります。
- ・ 函館漁港内では水産物の水揚げ作業を行っていますので、漁業作業の支障や迷惑とならないようご注意ください。

【位置図】

